

令和元年度の活動経過（設立6年目）

○“そば切り発祥の地”で「ソハキリ」at 定勝寺

大桑村でそば切りの史実を学びながらそば打ち体験。木曾の魅力を発信しました。

・第1回：11/20 参加者7組9人 ・第2回：11/27 参加者5組6人



そば切りの歴史を学ぶ



そば打ち体験

○そばの生育状況確認、収穫前巡回指導

10/1 に木祖村、木曾町（日義・新開・開田）の会員のそば畑をJA、協議会事務局で巡回。台風や長雨などによる被害がなく生育は順調。木祖村では、夏そば収穫後の二期作ほ場で開花中。木曾町では、草丈はほ場差が大きかったものの、倒伏は見られませんでした。



木曾町開田高原ほ場

○木曾のそば&すんきスタンプラリーの開催

11月～4月にかけて協議会加盟そば店32店舗のうち30店舗が参加。スタンプ数、応募期間延長等の応募要件を見直し、応募者2人に木曾郡内宿泊施設の宿泊券を贈呈。

○先進地視察研修会等の中止

令和元年7月、県内初の豚熱感染野生いのししの確認や新型コロナウイルスの影響を受け、先進地視察の開催やそば高品質・高収益化セミナーへの参加中止となりました。